



Library News

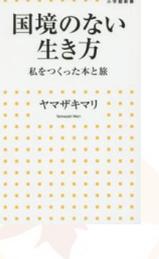


いざ、読書。

2016 年 10 月 27 日～11 月 9 日

1947 年の第 1 回開催から、今年で 70 回を迎えた読書週間。この機会に読書ははじめませんか？読書推進運動協議会に寄せられた推薦を基に選定された『若い人に贈る

2016 読書のすすめ』の本を一部ご紹介します！*おすすめ図書コーナーにあります

 <p>の心 鉄道デザイン 水戸岡鋭治</p>	<p>鉄道デザインの心 「ななつ星」や「或る列車」などの鉄道デザインを手がけた水戸岡鋭治が、徹底した顧客目線の仕事哲学を披露、熱のこもった”ものづくり”の心を語った一冊。</p>	 <p>あっ！ 命 の授業 ゴジキ 松本</p>	<p>あっ！命の授業 3 年ほど前からボランティアで少年院を回り、少年たちに独自の漢字を使った授業をしていた著者。だれもが受けたがっていた「命の授業」が書籍化</p>
 <p>めんどくさいを やめた。 やましたひでこ</p>	<p>「めんどくさい」をやめました。 言葉は使い方しだいでゴミにも宝にもなる！口癖を見つめ直せば人生はととのえていけるはず！口癖は「見えない自分」を映し出す鏡！</p>	 <p>国境のない 生き方 私をつくれた本と旅 ヤマザキマリ</p>	<p>国境のない生き方 虫や魚と遊んだ幼少期、反発した中高時代。芸術家からの刺激を受けた留学の日々にさまざまなトラブル。強烈な経験やディープな読書による著者の反省と人生哲学を公開</p>



第 8 回 私が薦める この一冊

宇宙や考古学の謎に迫る SF

ジェームズ・P. ホーガン著、池央訳 『星を継ぐもの』



航空宇宙工学科教授 岡崎 覚万先生

宇宙にはいまだに解明されていない謎が無数に存在します。最近の話題はもっぱらダークマターやダークエネルギーなどですが、もう少し目線を近くに戻すと太陽系内にも謎はあります。惑星の軌道半径はあるシンプルな数式で表現できます。これによると火星と木星の間には惑星が存在するはずですが、実際には無数の岩石のかけらが回っている帯になっています。なぜここだけ惑星が無いのでしょうか？もしかして過去には惑星が存在し、粉々に砕けた可能性はないのでしょうか？

月は地球に対して表の面だけを見せながら回っていますから、裏側は探査機が撮った写真でしかお目に掛かれませんが、裏と表の様子がずいぶんと違っているのをご存知ですか？なぜこれほどまで裏表で差があるのでしょうか？

謎は宇宙だけでなくこの地球にもたくさん存在し、その中でネアンデルタール人（旧人類）を駆逐したホモサピエンス（新人類）の直系の祖先が見つかっていない、つまり新人類はあたかも忽然と現れたように見えることは「ミッシングリンク」と言う呼ばれ方で大変有名です。

また、オーパーツと言って当時の技術ではありえないような品が太古の地層や沈没船から発見される例が複数あります。

J・P・ホーガン「星を継ぐもの」はこれらの謎をからめて太古の昔に現代の地球人の文明に匹敵する文明が太陽系内に存在したことを突き止めて行く SF です。1980 年著ですので、すでに 35 年以上昔の作品なのですが、今読み返しても少しも色褪せることのない新鮮さを保っています。若い皆さんにもぜひ読んでいただきたい 1 冊です。

*岡崎先生お薦めの本は 2 階『おすすめ図書コーナー』にあります。



知っていますか？
本学資料コーナー
 受付前エレベーター横に、『本学資料コーナー』があることをご存知でしょうか？この『本学資料コーナー』には、**本の先生方が書かれた本や、本学に関する資料を置いて**います。
 本学の先生方がどんな事を研究しているかを、ここにある本を通じて知る事が出来ます。また、本学から発行している、日本文理大学紀要等も置いてあるので、一度ご覧ください。

図書館 トリビア 『新書』ってなんだろう？

最近本屋でもよく耳にする『新書』という言葉ですが、『新書』が何なのか皆さんご存知ですか？『新書』という言葉は知っているけど、実際何なのかよく理解していないという方もいるかもしれません。『新書』には**ノベル（小説）系**と**ノンフィクション系**があり、ノンフィクション系の教養新書が根強い人気となっています。（本学図書館では、岩波新書やブルーバックス、現代新書を定期購入しています）。最近では、お笑い芸能人事務所と小学館が共同で新書を立ち上げたとニュースにもなりました。

『新書』の始まりは、1938年に岩波書店がイギリスのペンギン・ブックスの**本の寸法を参考に作ったのが始まり**とされています。多くの方が持っているイメージ「新書^{イコール}ノンフィクション・教養系の本」というより、出版業界では「新書^{イコール}新書版（B40判）」という**本の大きさで『新書』と扱っています**。

本にかかわる立場によって、意味合いが変わってくる『新書』ですが、ページ数も少なく手に取りやすい本です。この読書週間に『新書』を手にとってみませんか？



- 11月 NOVEMBER -

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 12月 DECEMBER -

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館
 カレンダー



休館日
8:30~20:00
8:30~18:00
8:30~17:00

図書館のアイドル?! がっちゃん

受付カウンターで、皆さんの来館を待っている**がっちゃん**こと、ガジュマルの木は、数年前にとある先生の元から図書館にやってきました。今にも歩き出しそうな幹部分が、ちょっと**セクシー?!**と話題です。

最近では、小さい葉が多く出てきて将来的には**図書館のシンボル**になるのでは?!と期待されています。

沖縄では**ガジュマルの大木には精霊が宿る**という言い伝えがあるそうです。まだ小さい**がっちゃん**が、どう大きくなっていくか、図書館に来た時には是非見ていってくださいね!

